

第2学年2組 国語科学習指導案

令和3年12月3日 第5校時

場所 2年 2組教室

児童数 男子17名 女子13名

1. 単元名 せつめいのしかたに気をつけて読み、「おもちゃの作り方リーフレット」を書こう
教材名 「馬のおもちゃの作り方」「おもちゃの作り方をせつめいしよう」

2. 児童の実態と本単元の意図

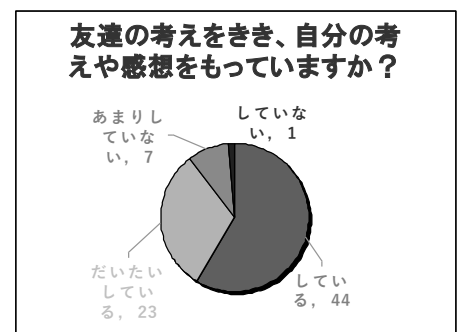
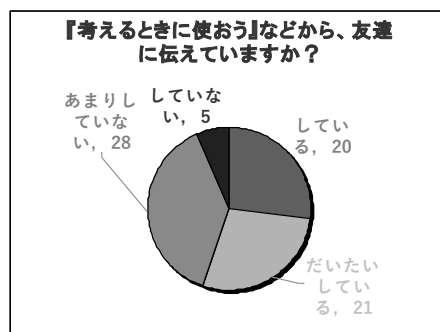
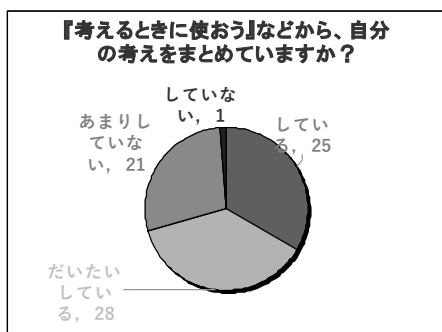
(1) 児童について

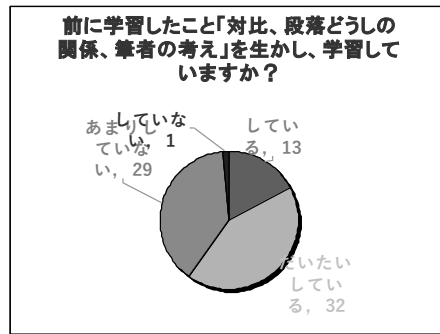
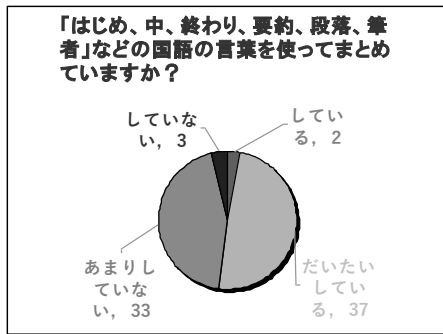
本学級の児童は、新しいことに関する興味関心が高く、どの教科でも活動に対して意欲的である。国語科の学習では、これまでに、「たんぼぼのちえ」「どうぶつ園のじゅうい」で、季節や時刻といった時間の順序に着目して説明文を読む学習をしてきた。また、「かんさつ名人になろう」「こんなもの、見つけたよ」では、観察したことや経験したことについて必要な事柄を集めて、はじめ・中・終わりの三つの構成で書く学習をしている。

これまで行った単元末テストや学期末テストの結果では、前後の言葉を手がかりに、単語の穴埋めや、該当する文を抜き出す設問では、正答率が高い。一方、説明の順序や文章の話題を答える設問では、正答率が低いことが課題である。本文と設問が同じ表現を使っていると答えることができるが、異なる表現になると難しさを感じていることが分かる。文章のまとまりを捉えながら読んだり、叙述と生活経験と結びつけ、より具体的に文章内容を理解したりする力を高めていきたい。

文章を書く活動においては、学習した構成に従って書くことはできている。その反面、思いを豊かに書くことができる児童と、表現が拙い児童との二極化が目立つ。文章で使用されている語彙からその違いが生まれるため、友達の文章を読む活動を通して語彙力を高めていきたい。また、紹介した表現を積極的に利用しようとする意欲が高いことから、文章を読む段階で使われている言葉にも注目させ、書くときに生かせるよう授業を展開していく。

「情報の扱い方」に関するアンケートは、以下のような結果になった。情報の扱い方に関する事項を使って考えをまとめているかを問う項目では、7割以上の児童が「している」「だいたいしている」と答えている。一方、まとめた考えを友達に伝えているかを問う項目では、「している」「だいたいしている」と答えた児童は5割に留まり、半数近くの児童が難しさを感じていることが分かる。そこで、本単元では、リーフレットを作る前に、文章を書く際の語彙を増やす活動を取り入れる。言葉の使い方をすることで、自信をもって伝えることができるようにする。また、制作過程でも友達と交流する場を意図的に設定し、共通点や相違点を探しながら聞くことで、自分の考えをより高めていく経験を積みさせていく。練り上げた考えを伝えて達成感や充実感を味わわせ、表現する意欲の向上を図る。





（「情報の扱い方」に関する意識調査 令和3年9月実施）

(2) 単元について

本単元は、4つの事柄に分けられた「馬のおもちゃの作り方」と、これを踏まえて作り方を説明する文を書く「おもちゃの作り方をせつめいしよう」という二つの教材で構成されている。まず、「馬のおもちゃの作り方」で、作り方をわかりやすく説明するために大切なことを学習し、これを生かして、自分が選んだおもちゃの作り方が書けるようになっている。

「馬のおもちゃの作り方」は、二種類の順序を扱う説明文である。一つ目は、事柄の順序である。ここでは「前書き」「材料と道具」「作り方」「楽しみ方（遊び方）」である。二つ目は、「作り方」の作業手順である。「まず」「つぎに」などの順序を表す言葉と合わせて指導する。「作り方」は5段落で構成されており、まず部品を作り、それを使って順に作製していく手順が記述されている。各段落の1文目は、その段落で作るものを端的に表し、2文目以降では「作業を表す文」や「作業の意味を表す文」とで作り方を詳しく説明している。文章の上部には写真が配置され、写真と文章を照らし合わせて読むことができるようになっている。

「おもちゃの作り方をせつめいしよう」では、説明文で学んだことを生かして、文章を書く活動の手順が示されている。作例「けん玉の作り方」では、各段落の冒頭に「まず」「つぎに」のような順序が分かる言葉を置き、作業の順序を捉えやすくしている。また、それぞれの文は作業のみを表し、簡潔な書き方となっている。

(3) 指導について

本単元では、説明文を読んで説明の仕方を捉え、その学習を生かして、実際に説明文を書く。

導入では、1年生と行ったおもちゃまつりを想起し、意欲付けを図る。また、リーフレットの見本を見せることで、活動の見通しをもたせる。対象を1年生に設定し、より分かりやすく説明するにはどうしたらいいかという課題意識を高めたい。

説明文を読む活動では、実際におもちゃを作る活動を通して、分かりやすい表現や、説明の工夫について考える。「作り方」をわかりやすく書くためには、段落先頭の接続語や、数や方向などの具体的な表現が重要となる。実際に馬のおもちゃを作ることで、文章と作業工程をつなぎあわせ、表現の工夫に気付かせたい。また、教師がときに失敗した状態を見せることで、説明するときに重要な語句に着目させる。見つけた説明の工夫は児童の言葉でまとめ、書く活動に生かす。

学習したことを生かして書く活動では、個々のおもちゃの説明文を書く前に、全員で「しかけカード」の作り方を書く活動を取り入れる。文章の書き方を確かめると共に、読む過程で学習した表現を使い、友達と交流することで、説明で使う語彙を増やす。その後のリーフレット作りでは、はじめに、作り方の手順を三段階で絵に表し、大まかな構成を決める。その後、接続語や、長さ・数・場所などの具体的な表現を使いながら、説明文を書く。書いた文章を読み直したり、友達を読み合ったりするときには、児童の言葉でまとめた説明の工夫を視点とし、児童が自らの学びを調整していくことができるようにする。

3. 研究主題との関わり

(1) 研究主題

主体的に学びに向かう台小っ子の育成
～知識の理解の質を高め、確かな学力を育てる
「伝え合い、学び合う」授業づくり～

(2) 研究の仮説に対する具体的な手立て

〈仮説1〉 話や文章に含まれている情報と情報との様々な関係を適切に捉えて、思考力や判断力、表現力などを働かせていけば、児童の知識・理解の質を高めることができ、主体的に学びに向かう児童を育てることができるであろう。

【手立て】

①音読の工夫

音読の際、接続語や作り方を説明するときに大切な言葉など、本時の指導事項と関わる言葉を大きな声で読むよう指示する。それによって、文章の中での働きを意識付け、書くときに児童自ら使えるようにしていく。

②学習活動の工夫

本単元では、「馬のおもちゃの作り方」で説明の仕方を確認した後、全員で「しかけカードの作り方」を書く過程を取り入れた。既習事項を活用して理解を深めると共に、全員で同じ物の〈作り方〉を書くことで、それぞれの表現を比べ、よりよい説明の仕方を考えるものの見方・考え方を働かせる機会とする。また、次時でリーフレットを作る際、よりよい表現を追究しようとする、意欲の喚起につなげたい。

③板書の工夫

本時では、しかけカードの作り方の主語と述語を短冊で示し、その間に児童が考えた言葉を書き込んでいく。前時で全文シートに色分けした通り、長さ・数・場所を色分けすることで、必要な情報を意識付け、よりたくさんの表現を使おうとする意欲を高める。

④振り返りシートの活用

「振り返りシート」を活用し、本単元における毎時間の振り返りを一覧できるよう蓄積していく。学習の積み重ねを児童自らが感じられるようにすることで、見通しをもち、学習に主体的に取り組めるようにする。

⑤既習事項の活用

「馬のおもちゃの作り方」の文章構造を既習教材と比較し、「たんぼぼのちえ」「どうぶつ園のじゅうい」と同じように、時間的な順序によって説明されていることに気付かせる。「じどう車くらべ」のように、異なる視点の順序と比較することで、本教材の特徴を明確にし、書くときに手順に沿って書くことを意識付けたい。

〈仮説2〉 取り出した情報について、整理の仕方、比較・分類の仕方、メモや記録の仕方、引用などの仕方を知り、必要な語句やキーワードを適切に使って相手に伝えることができれば、授業を通しての児童の「伝え合い、学び合う」力が高まるであろう。

【手立て】

①全文シートの活用

本文が一覧できるように、全文シートを作成する。接続語に印をつけることで、接続語で段落がつながっていることや、1文目に何を作るのが説明されていることを視覚的にも理解できるようにする。また、〈作り方〉を説明するうえで重要になる語句（長さ・数・場所を表す言葉）にも色分けして印をつけることで、視覚的に印象付けていく。

②対話的な活動の設定

学習過程の中で、話し合う活動を取り入れる。発言の機会を確保することで、自分の考えをもつことの必要性を喚起するとともに、「1年生に伝える」というめあての前段階として、同学年の友達に伝える活動を通し、より分かりやすく説明しようとする意欲につなげたい。話し合いは3人組とし、発言の機会を保障する。また、自分の考えを伝え、友達の考えを取り入れながら表現を練り上げていくなかで、発信することのよさを味わわせたい。

③「考えるときに使おう」の活用

話し合いの視点として、「考えるときに使おう」を提示する。友達の意見を聞くときに、共通点や相違点を探することで、自分の考えと比較し、より分かりやすい表現があることに気付かせたい。また、稚拙な表現に対しても、どうすればより伝わりやすくなるのかを考えることで、表現を追究する意欲につなげたい。

③絵を活用し、説明の手順を明確にする

〈作り方〉の説明を書く活動では、文章を書く前に、手順を3つに分けて絵に表す活動を取り入れる。その後、絵に合わせて、おもちゃのどの部分を作るのかを一文で書き表し、最後に、詳しい作り方を書き加える。児童は、一連の作業をいくつかの手順に分割する段階で難しさを感じる事が予想されるため、絵と文の双方を活用し、順序立てて作り方の説明が書けるよう支援する。絵で表す活動が困難な児童には、「切る」「折る」などの動詞をカードにしておき、説明したい言葉を選ばせることで支援する。

4. 単元の目標

- (1) 共通、相違、事柄の順序などの情報と情報との関係について理解することができる。(知識・技能(2)ア)
- (2) 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。(思考力・判断力・表現力 B(1)イ)
- (3) 事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思考力・判断力・表現力 C(1)ア)
- (4) 事柄の順序に沿って構成を考え、表現を工夫しながら粘り強く取り組み、おもちゃの作り方を説明する文章を書くことができる。(学びに向かう力、人間性等)

5. 単元で取り上げる言語事項

おもちゃの作り方について書かれた文章を読み、手順を示す文章の書き方を学ぶ。そこでの説明の工夫を使って、実際に説明する文章を書いてリーフレットを作ること、理解を定着させる。

(関連：B書くこと言語活動例 Bア)

6. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①共通、相違、事柄の順序などの情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	①「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。〈B(1)イ〉 ②「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。〈C(1)ア〉	①事柄の順序に沿って構成を考え、表現を工夫しながら粘り強く取り組み、おもちゃの作り方を説明する文章を書こうとしている。

7. 指導と評価の計画（全14時間扱い）

次	時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
第1次	1	○「せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書こう」という単元のめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。	○見通しの形成	○生活科で取り組んだ「おもちゃまつり」を想起させ、リーフレット作りへの意欲を高める。 ○教師の作った見本を示し、学習の見通しをもたせる。
		○自分が説明するおもちゃを決める。		
第2次	2・3	○文章の構成を理解し、事柄の順序や写真の活用について考える。	○文章の構成 ○「まず」「つぎに」などの作り方の手順を分かりやすくする接続語 ○絵や写真の効果	○一続きの文章を示し、項目ごとに分かれているよさを実感させる。 ○文章を切り分け、写真と対応させながら貼る活動を通して、絵や写真の効果を実感させる。
	4・5	○教材文を読みながら実際に馬のおもちゃを作り、説明の工夫を見つける。	○長さ、数、場所などを表す言葉 ○読み手に働きかける表現	○わざと間違えた手順を提示することで、説明に必要な語句に着目させる。
	6	○説明の工夫について話し合い、まとめる		<p>【知】 発言・記述 順序が分かる言葉をもとに、馬のおもちゃの作り方の手順を捉えている。</p> <p>【思C】 発言・記述 順序を考えて教材文を読み、文のまとまりを捉えながら説明の工夫を読み取っている。</p>

第3次	7 (本時)	○「しかけカードの作り方」について話し合い、説明を完成させる。	○長さ・数・場所などを表す言葉	○全員で同じ物についての説明を考えることで、分かりやすい説明の仕方に気付かせる。 【思B】ワークシートの記述 「書くこと」において、事柄の順序に沿って、3つの要素を使い、簡単な構成を考えている。〈B(1)イ〉
	8	○「おもちゃの作り方」の説明を書く学習への見通しをもつ。 ○説明するおもちゃについて、必要な材料や道具を考える。	○学習の見通し ○文章の構成	○前時までの学習を生かすことを意識させ、「がくしゅうのすすめ方」を手がかりに、学習の見通しをもてるようにする。 ○「1年生に向けて説明する」という相手意識をもたせる。
	9 〜 13	○自分が選んだおもちゃの作り方を、3つに分けて絵で描く。 ○選んだおもちゃの作り方を文章で書く。 ○既習事項をもとに、書いた文章の見直しをする。	○事柄の順序 ○接続語 ○絵や写真の効果 ○長さ・数・場所などを表す言葉	○作り方を絵で表し、3つの手順に分けさせる。 ○「馬のおもちゃの作り方」で見つけた説明の工夫を児童の言葉でまとめておき、掲示して意識付ける。 ○ここまでで確認してきた説明の工夫を使って書いているかを確認かめさせる。 ○読むときの観点を示して感想を伝え合い、自分や友達の文章のよいところに気づくことができるようにする。 【知】リーフレットの記述 順序が分かる言葉を使って、説明する文章を書いている。 【思B】リーフレットの記述 説明の順序に沿って、構成を考えながら文章を考えている。 【思B】観察・リーフレット記述 文章を読み返し、分かりづらいところを書き直すなど、文章をよりよくしている。

14	○完成した説明文を読みあつて感想を伝え合い、学習を振り返る。	○自分の考えの再構成	<p>【思B】観察・発言 友達と書いた説明を読み合い、感想を伝え合っている。</p> <p>【態】観察・記述 学習したことをいかし、順序を意識して分かりやすい説明を書こうとしている。</p>
----	--------------------------------	------------	---

8 本時の学習指導（7/14時）

（1）目標

○事柄の順序に沿って簡単な構成を考えながら、「長さ」「数」「場所」を表す言葉を入れて、しかけカードの〈作り方〉を書くことができる。

（2）評価規準

○事柄の順序に沿って簡単な構成を考えながら、「長さ」「数」「場所」を表す言葉を入れて、しかけカードの〈作り方〉を書いている。

【思考・判断・表現】

（3）展開



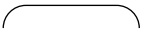

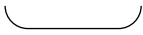

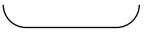
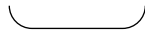
学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	時間
1. 前時の学習内容を確認、本時の課題を知る。	○接続語 ○順序 ○作り方を説明するとき大切な言葉 ○本時の課題	・長さ・数・場所を表す言葉を色分けして印をつけた全文シートを用いることで、前時の学習内容を想起させる。〈仮説2-①〉	5
<p>㊦じゅんじょをあらわすことばと、「長さ」「数」「場所」をあらわす言葉をつかって、しかけカードの〈作り方〉を書こう。</p>			
2. 「馬のおもちゃの作り方」の〈作り方〉を音読する。		・「説明するとき大切な言葉」が出てきたら大きな声で読むよう指示し、意識付ける。〈仮説1-①〉	2
3. しかけカードを作る手順を確認する。（折る→切りこみを入れる→押し上げる→はる）	○〈作り方〉の手順	・生活科で作った招待状を見せ、おおまかな手順を確認する。 ・述語のみを示し、長さ・数・場所等を表す言葉の必要性に気付かせる。	5
4. 「説明するとき大切な言葉」を使って、〈作り方〉を書く。	○長さ・数・場所を表す言葉 ○写真の活用	・それぞれの手順で、長さ・数・場所を表す言葉が1つ以上入るとよいことを伝える。提言4 〈仮説1-②〉	10

5. 書いた文章を基に、3人組で交流をする。	○話し合いの視点 (共通点、相違点)	・友達の考えでよいと思ったものは、書き加えるよう伝える。 提言5 〈仮説2-②〉	8
<p>評価場面</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p><評価方法>ワークシート</p> <p>A評価:「長さ」「数」「場所」を表す言葉すべてを適切に使い、手順がよく分かるように書くことができる。</p> <p>B評価:「長さ」「数」「場所」を表す言葉のいずれかを3つ以上使い、手順が分かるように説明を書くことができる。</p> <p>C評価:「長さ」「数」「場所」を表す言葉のうち、3つ未満の言葉しかつかえていない、かつ、作り方の手順が分かるように書くことができない。</p>			
6. 交流したことを基に、全員で確認をする。	○振り返りの視点	・全文シートの印と同様に、長さ・数・場所を色分けして書き、3つの要素を意識付ける。〈仮説1-③〉	10
7. 振り返りを書く。		提言6 〈仮説1-④〉	5

(4) 評価の具体例

<p>【Aの児童の記述例】</p> <p>まず、はじを合わせて半分にあります。つぎに、3センチメートルの切りこみを2つ入れます。それから、切ったところをおり、はんたいからおし上げます。さいごに、おったところに、かざりをつけます。</p>
<p>【Bの児童の記述例】</p> <p>まず、半分にあります。つぎに、3センチメートルの切りこみを入れます。それから、切ったところをおり、おし上げます。さいごに、かざりをつけます。</p>
<p>【Cの児童の記述例】</p> <p>まず、画用紙をおります。つぎに、はさみで切りこみをいれます。それから、手でおし上げます。さいごに、まんなかにはります。</p>

(5) 板書計画

<p>ふりかえり</p> <p>①学しゆうしたこと「今日学しゆうしたことは」</p> <p>②分かったこと</p> <p>③友だちのいけんを聞いて</p> <p>「〇〇を聞いて〜と思った。」</p> <p>④学しゆうしたことをつかって、〜してみたい。</p>	<p>写真④</p>	<p>写真③</p>	<p>写真②</p>	<p>写真①</p>	<p>せつめいのしかたに気をつけて読み、</p> <p>「おもちゃの作り方リーフレット」を書こう</p> <p>馬のおもちゃの作り方</p> <p>②じゅんじよをあらわすことばと、「長さ」「数」「場しよ」をあらわす言葉をつかって、しかけカードの(作り方)を書こう。</p>
					
					
	<div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>はります。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>おしあげます。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>切りこみを入れます。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>おります。</p> </div>	